

9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の寄居町でのお金の収支（決算）について審議します。寄居町議会では、平成19年度決算の審議以来、開かれた議会の一環として本会議で決算を審議しています。平成25年度決算は、9月29日・30日の2日間にわたり審議され、稲山議長、監査委員の原口孝議員を除く全議員が質疑を行いました。活発に行われた質疑応答をご紹介します。（紙面の都合で1議員1問答を掲載しています）

## 平成25年度決算審議

# 全議員が問う！



稲山良文議長

### ■歳入 法人町民税の大幅増

**大久保幸夫** 「企業収益の改善等により大幅な伸びが見られた」としていますが、この伸びの要因をどう分析しているのか伺います。

**答弁** 法人税割の納付社数は、全体（712社）の34%程度（245社）と、前年度とほぼ同様となっております。法人全体にわたる底上げというよりも、大手法人である輸送用機器

部品製造業等の特定企業の収益改善により、大幅な伸びにつながったものと考えています。

### ■歳入 民生費負担金

**佐藤理美** 収納率向上を高めることは、町政運営において重要な課題です。平成24年度は、保育所保護者負担金において、約110万4000円の不納欠損処理を行いました。25年

度の不納欠損処分を行わなかった理由について伺います。

**答弁** 平成25年度においては、保育料の滞納について十分な調査を実施できなかったため、不納欠損処理を行いました。今後も、収納率の向上に努めていきたいと考えます。

### ■歳入 労働人口と所得水準

**田母神節子** 歳入に関連する、町の労働人口と所得水準について伺います。

**答弁** 統計上の生産年齢人口は15歳から64歳までとなり、2万2033人です。平成25年度の所得階層は、所得100万円以下の該当者が約3200人（19・5%）、200万円以下が約5300人（31・7%）、300万円以下が約3500人（21・2%）等という状況です。所得300万円以下の階層が70%を超えています。

### ■総務費 人口減・少子化対策

**峯岸克明** ここ数年、毎年400名前後の人口減少が続き、合計特殊出生率

は1・1と県平均、全国平均を大きく下回っています。これらの要因と対策について伺います。

**答弁** 平成25年度はホンダ効果もあり例年よりも減少幅は改善されましたが、若者世代を中心に人口減少が続いています。低出生率とあわせて、職場の少なさ、所得の低さ、晩婚化などが要因とされています。子育て支援、企業誘致等を継続、充実させることで対応していきます。

### ■民生費 シルバー人材センター

**大平久幸** 寄居町シルバー人材センター運営のための補助金が支出されていますが、運営内容・会員数・業務量の増減状況を伺います。

**答弁** 寄居町シルバー人材センターは会員1人当たりの売上高が県内でも上位だと報告を受けています。会員数は、昨年度末で318人。除草作業や役場の警備員、学校の集配などを行っています。昨年は39名が入会しましたが、高齢や病气等で61名が退会したため、会員数は減りました。



議会選出監査委員  
原口孝議員

神田 崇議員

大久保幸夫議員

峯岸克明議員

真下 昇議員

鈴木詠子議員

津久井康雄議員

瀧澤 忍議員

岡本安明議員

大平久幸議員

原口 昇議員

佐藤理美議員

坂本建治議員

大久保博幸議員

田母神節子議員

次のページは「町の財政力などは？」

数字で見る町の財政健全度」